

市政一般質問発言通告書（個人）

令和7年 2月 21日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	環愛岐丘陵都市間協力体制の構築について
質問要旨	多治見市の地政学的な特徴は、岐阜県の玄関口であると共に、愛知県との県境に位置するという点にある。多治見市と隣接する自治体は5つあるが、実はそのうちの3市が愛知県に属する自治体であり、近隣都市との関係強化という点では、数の上では県境の向こう側こそ重視しなければならないと言っても過言ではない。 以上のような観点に立った時、今後も多治見市が持続的な発展を維持していくためには、瀬戸市、春日井市、犬山市との協力関係強化が必要不可欠であり、今後の展望及び戦略も踏まえて以下の点について所見を問う。
質問項目①	県境をまたぐ交流の重要性と現状
質問項目②	多治見犬山線の現状（県境をまたぐインフラ整備の難しさ）
質問項目③	有害鳥獣対策における協力
質問項目④	観光戦略における協力（瀬戸市については窯業分野を含む）
質問項目⑤	人事交流をはじめとする行政間交流
質問の相手方	企画部長、経済部長、建設部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和7年 2月 21日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

12 番議員 氏 名 吉田 企貴

質問題名	人が集うまち、人が育つまちを目指して
質問要旨	多治見市の本質的課題の一つである人口減少に如何にして向き合うのかという点について執行部の所見を問う。 特に、人口減少がほぼ確実かつ、予想以上に早い速度で進行している現状に鑑み、人口減少に対して如何に「順応」していくのかという観点について伺いたい。 また、昨年6月議会において示した小学校区ごとの将来児童数見込に対して答弁いただいた、今後の小中学校の在り方についての議論の進捗についても確認する。 ※「人が集うまち、人が育つまち」というフレーズは川南まちづくりプロジェクトにおいて提唱されているものをお借りしています。
質問項目①	居住人口の減少に歯止めがかからない以上、多治見市を訪れる人口（交流人口）によって経済や都市機能を維持していくことが求められるが、今後の展望と戦略について。
質問項目②	人口減少を見越して公共施設の統廃合を進める必要があるが、進捗状況をどう分析しているか。
質問項目③	交流人口を増やすという観点からも、教育施設の充実や、教育機会の確保は極めて重要であるが、今後の展望はいかがか。
質問項目④	校区によっては将来児童数の激減が見込まれ、現実的な対応策として複式学級か統廃合かを迫られる状況に直面しつつあるが、昨年6月以降の議論の進捗を伺う。
質問項目⑤	
質問の相手方	教育長、企画部長